

中国・揚州大学との合同オンラインセミナー

“International Joint Seminar Yangzhou univ. × Tohoku univ.”を開催しました。

After / With コロナの時代における新しいスタイルの国際交流として令和3年度より始まった、東北大と揚州大との合同研究発表セミナー“International Joint Seminar Yangzhou univ. × Tohoku univ.”は、今回で3回目の実施となりました。本セミナーは東北大学知の創出センターの支援を賜り、知の館・レクチャーシアターの設備を活用したオンライン-オンサイトのハイブリット形式にて開催されました。

今回は東北大学・機能形態学研究室から2名（高田裕希さん、久松基史さん）、揚州大学・趙国琦教授の研究室から2名

（Zhiqiang Chengさん、Maocheng Jiangさん）の計4名が研究発表を行いました。

高田さんはヒト母乳免疫、久松さんはニワトリ腸管免疫、Chengさんはミルクと脂質代謝、Jiangさんはウシルーメン上皮の自然免疫に関する研究と、今回も非常に多様で学際的な内容となりました。双方のフロアから質問が飛び交い活発な議論を行った後、最後には写真撮影と共に和やかな雰囲気締めくくられました。

今年度はあと2回（9月、12月）にも本セミナーを実施予定であり、コロナ禍においても東北大学と揚州大学との研究交流を活発に行っていきます。オンライン化によって頻りに顔を合わせて学术交流を行えるようになったことで、これまで以上に相互理解が深まっていることを実感しております。この場を借りて、JSPSの研究拠点形成事業からのご支援に深く感謝申し上げます。

内野紗江佳、伊東加織、野地智法（東北大学大学院農学研究科、食と農免疫国際教育研究センター）



開催地：東北大学片平キャンパス 知の館



セミナー終了後、オンライン集合写真撮影